

# 平成 21 年度 日本海岸林学会研究発表会講演要旨集

*Proceeding of the Annual Meeting of the Japanese Society of Coastal Forest in 2009*

期 日 : 平成 21 年 11 月 6 日 ~ 8 日

会 場 : 日本大学生産工学部 津田沼キャンパス (千葉県習志野市泉町 1-2-1)

大会日程 :

	午 前	午 後
11 月 6 日 (金)	9:30 ~ 17:00 現地検討会	
11 月 7 日 (土)	8:30 評議員会 9:45 学会開会 10:00 ~ 11:30 研究発表会	13:00 ~ 17:00 シンポジウム 「海岸林の復元と利用」 18:00 ~ 情報交換会
	ポスター展示 (終日) ポスター発表 (11:30 ~ 12:30)	
11 月 8 日 (日)	9:15 学会総会 10:00 ~ 11:30 研究発表会	13:00 ~ 15:00 研究発表会 16:00 学会閉会
	ポスター展示 (終日) ポスター発表 (11:30 ~ 12:30)	

日本海岸林学会

*Japanese Society of Coastal Forest*

## 口頭発表プログラム（11月7日 10:00-11:30）

### セッション：技術

- 北海道石狩浜における土壌生物からみた海岸林と海浜草原の自然度の測定 9  
岡田 穰（専修大学北海道短期大学）・佐々木翔太（札幌科学技術専門学校）
- 本数調整遅れのクロマツ海岸林における優勢木の特徴－自然間引きに任せてよいか？－ 11  
坂本知己・島田和則（森林総合研究所）・萩野裕章（森林総合研究所九州支所）・  
野口宏典（森林総合研究所）
- 海岸林樹木の立木強度の測定法に関する検討 13  
井上章二・狩谷晃司・知名里美（琉球大学農学部）
- 植生指標を用いた海岸林の生育判読－千葉県九十九里海岸林を事例として－ 15  
青山定敬（(株)建設技術研究所）・  
西川 肇・大木宣章・工藤勝輝・岩下圭之（日本大学生産工学部）
- 航空レーザ測量成果を利用した海岸林の樹高測定 17  
朝香智仁・西川 肇・藤井壽生（日本大学生産工学部）・近藤 勉（日本大学総合科学研究所）・  
近田文弘（元国立科学博物館）・大木正喜（木更津工業高等専門学校）

## 口頭発表プログラム（11月8日 10:00-11:30）

### セッション：生態

- 秋田県の海岸クロマツ林における2000～2008年の松枯れ動態 19  
金子智紀（秋田県農林水産技術センター森林技術センター）
- ヒヨドリの秋の渡りが海岸林を経路とする要因と植生に及ぼす影響 21  
林田光祐・倉重朋恵（山形大学農学部）
- 桜島のクロマツ林斜面における表面侵食による土砂生産と噴火活動の影響討 23  
寺本行芳・下川悦郎（鹿児島大学農学部）

沿岸域に生育する広葉樹の耐潮性比較 25  
中島有美子・吉崎真司（東京都市大学環境情報学部）

海岸林整備に伴う廃棄物の有効利用—ハイゴケの水分特性と利用— 27  
田中 明（佐賀大学海浜台地生物環境研究センター）

## 口頭発表プログラム（11月8日 13:00-15:00）

### セッション：防災

海岸防災林の造成（VI）—菌根菌感染抵抗性クロマツを用いた現地生育試験— 29  
山本一夫・田原雄一郎・中道 明（多機能フィルター(株)）・  
河野修一・稲本亮平・川崎哲郎・江崎次夫（愛媛大学農学部）・  
車 斗松・全 権雨（江原大学校山林環境科学大学）

災害時における備蓄物資の現状把握—愛媛県南予地域を事例として— 31  
松浦紀美恵（神戸女子大学健康福祉学部）・  
垣原登志子・小林範之・江崎次夫（愛媛大学農学部）

保安林造成と海岸侵食—千葉県九十九里浜の例— 33  
星上幸良（国際航業（株））・宇多高明（(財)土木研究センター）

砂丘形状の経年変化について—写真測量による人工砂丘DSMの比較結果から— 37  
萩野裕章（森林総研九州支所）・小玉哲大（共立航空撮影）・  
野口宏典・島田和則・坂本知己（森林総合研究所）

沖縄の村落景観と抱護の林帯の植生構造に関する調査研究（I） 39  
仲間勇栄（琉球大学農学部）・浦山隆一（富山国際大学）・陳碧霞（琉球大学農学部）

海岸防災林の造成（V）—エチゼンクラゲ類を活用したポットおよび現地生育試験— 41  
河野修一・稲本亮平（愛媛大学農学部）・柳原 敦・中島勇喜（山形大学農学部）・  
川崎哲郎・江崎次夫（愛媛大学農学部）・車 斗松・全 権雨（江原大学校山林環境科学大学）

韓国, 仁川広域市注文島における海岸林の復元事業 43  
全権雨・林榮浹・小長谷啓介（江原大学校山林環境科学大学）・林采靈（韓国山地保全協会）・  
鄭ダウム（北部地方山林庁ソウル国有林管理所）・江崎次夫（愛媛大学農学部）

## ポスター発表プログラム（11月7, 8日 11:30-12:30）

- 庄内砂丘における防浪砂堤の形状が海岸林に及ぼす影響 47  
瀧澤誠介（山形大学大学院農学部研究科）・柳原敦（山形大学農学部）
- 山形県庄内海岸におけるコウボウムギ両性株の発生状況  
-湯野浜海岸と浜中海岸を対象として- 49  
石井 宏（山形大学大学院農学研究科）・柳原敦（山形大学農学部）・中島勇喜（山形大学）
- クロマツ林床整備が及ぼすショウロへの影響 51  
高橋雅彦・久末麻由（山形大学農学部）
- 海岸クロマツ枝葉の流れ方向への投影面積の推定—流体に対する抵抗力の評価に向けて— 53  
野口宏典・坂本知己（森林総合研究所）
- 植栽仕様の違いがカシワの初期成長に与えた影響 55  
田村浩喜（秋田県農林水産技術センター）
- 佐賀県虹の松原を事例とした海岸林における景観散策の心理的な効果と  
その要因となる景観構成 57  
浅野ひかる・岡田 穰（専修大学北海道短期大学）・  
田中 明（佐賀大学海浜台地生物環境研究センター）
- 人工砂丘に対する風向きと風下領域における風況の関係  
-4パターンの風向きで実施した風洞模型実験による推定結果から- 59  
萩野裕章（森林総研九州支所）
- 名勝慶野松原における海岸クロマツ林の維持管理の現状および地域の関わり 61  
藤原道郎（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科）・  
三浦弘之（兵庫県立淡路景観園芸学校）・  
黒田有寿茂（兵庫県立大学自然・環境科学研究所）・  
澤田佳宏・大藪崇司・山本聡（兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科）
- 海岸砂丘の緑化のための様々な植物の初期被覆度の変化 63  
任相浚・金綱暉（ソウル大学校山林科学部）・李峻譽（忠南大学校環境林産資源学部）・  
朴鍾旻（全北大学校山林科学部）・李定洙・車斗松（江原大学校山林科学大學）

千葉県富津岬における海浜の縮小過程と海浜植生の現状について 65  
岡浩平・吉崎真司・小堀洋美（東京都市大学大学院環境情報学研究科）

マツ枯れ後の海岸林の植生回復過程—愛知県渥美半島におけるクロマツ天然更新の事例— 67  
郷雅和・岡浩平・宮浦徹・吉崎真司（東京都市大学大学院環境情報学研究科）

衛星画像を用いた海岸林の景観診断の試み  
—千葉県の九十九里クロマツ海岸林を事例として— 71

西川 肇・藤井壽生・工藤勝輝・浅香智仁（日本大学生産工学部）・  
近田文弘（国立科学博物館名誉研究員）

## シンポジウム（11月7日 13:00-17:00）

### 海岸林の復元と利用

海岸林の復元と利用—風の松原を事例にした育林学的考察— 75  
伊藤忠夫（元静岡大学 教授）

千葉県の海岸県有保安林について—その現状と課題— 77  
山下俊男（千葉県農林水産部森林課 森林基盤整備室 室長）

茨城県海岸林の現状と海岸林への広葉樹導入の試み 79  
津田裕司（茨城県林業技術センター 主任）

日本の松原を再生する—白砂青松永遠なれ 81  
瀧 邦夫（財団法人日本緑化センター）